

院外処方箋に記載する検査値一覧

項目名	正式名称	当院基準値	単位
WBC	白血球数	40～80	10 ² /μL
NEUT	好中球(比率)	-	%
Hb	ヘモグロビン, 血色素量	男性:14～17	g/dL
		女性:12～15	g/dL
Plt	血小板数	12～30	10 ⁴ /μL
INR(PT-INR)	国際標準化比	0.90～1.13	-
AST(GOT)	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	12～36	IU/L
ALT(GPT)	アラニンアミノトランスフェラーゼ	6～43	IU/L
T-Bil	総ビリルビン	0.1～1	mg/dL
血清Cr	血清クレアチニン	0.5～1.2	mg/dL
eGFR	推算糸球体濾過量	-	mL/min/1.73m ²
CK	クレアチンキナーゼ	20～170	IU/L
CRP	C反応性蛋白	0～0.8	mg/dL
Na	ナトリウム	135～147	mEq/L
K	カリウム	3.5～5	mEq/L
Ca	カルシウム	8.4～10.2	mg/dL
HbA1c	グリコヘモグロビンA1c	4.6～6.2	%
ALB	アルブミン	3.8～5.3	g/dL

院外処方箋に記載する検査値の解説

項目名	正式名称	解説
WBC	白血球数	白血球の総数を示しています。白血病などの血液疾患や炎症性疾患の診断・経過観察などに用います。
NEUT	好中球(比率)	細菌・ウイルス感染症や各種血液疾患の鑑別、抗がん剤などの薬品使用時に用いられます。
Hb	ヘモグロビン, 血色素量	酸素の運搬を担う赤血球中のヘモグロビンの量です。貧血などのスクリーニング検査として用いられます。
Plt	血小板数	主な働きは止血作用です。血小板が減少すると出血しやすくなります。
INR(PT-INR)	国際標準化比	血液の凝固能を示す検査値です。主にワルファリン治療時に利用します。
AST(GOT)	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	肝臓、骨格筋、心筋、腎臓、赤血球などに存在する酵素です。これらの組織障害で上昇します。
ALT(GPT)	アラニンアミノトランスフェラーゼ	特に肝臓に多く存在する酵素で、肝細胞の障害で上昇します。ASTよりも肝特異性が高いです。
T-Bil	総ビリルビン	主にヘモグロビンの分解産物です。肝疾患の診断や黄疸の鑑別に有用です。
血清Cr	血清クレアチニン	筋肉の代謝産物で、腎機能の指標です。高値は腎機能障害の疑いがあります。
eGFR	推算糸球体濾過量	血清クレアチニン値と年齢と性別から算出される腎機能の指標です。低値は腎機能障害の疑いがあります。日本人健康成人の平均体表面積(1.73m ²)あたりの値で示されています。
CK	クレアチンキナーゼ	筋肉に含まれる酵素で、心筋梗塞や筋肉の障害で上昇します。
CRP	C反応性蛋白	炎症性疾患や体内組織の崩壊があると増加する炎症の強さの指標です。
Na	ナトリウム	電解質バランスの指標です。細胞外液に多く含まれ、体液のバランス維持の役割を果たしています。
K	カリウム	電解質バランスの指標です。細胞内、神経伝達や筋収縮に関与しています。
Ca	カルシウム	骨の主成分で、筋肉の収縮、神経の刺激伝導、血液凝固にも必須の物質です。
HbA1c	グリコヘモグロビンA1c	血糖コントロールの指標です。過去1~3ヶ月程度の平均血糖値を反映します。
ALB	アルブミン	肝臓で合成される血中の主たる輸送体蛋白です。栄養状態の指標になります。